2026年8月25日

各　　位

会社名　　株式会社スマレジ
代表者名　　代表取締役　　宮﨑　龍平
（コード番号：4431　東証グロース）

スマレジとアスタリスク、RFIDレジ加速で協業開始
～小売・アパレルの会計業務を効率化、省人化・自動化を推進～

iPadなどのタブレットを利用したクラウドPOSレジ『スマレジ』を展開する株式会社スマレジ（本社：大阪市中央区、代表取締役：宮﨑 龍平、以下「当社」）は、株式会社アスタリスク（本社：大阪市淀川区、代表取締役執行役員社長：鈴木 規之、以下「アスタリスク」）と、RFIDを活用した店舗業務の効率化に向けた協業を強化します。

当社とアスタリスクはこれまで、アスタリスクが提供するRFIDリーダーとクラウドPOSレジ「スマレジ」とのシステム連携などを進めてきました。今回、こうした連携実績をさらに発展させ、RFIDレジの実店舗での活用拡大に向けた取り組みを進めます。

本取り組みは、当社が第3次中期経営計画で掲げる「業界特化型POSの推進」「省人化・自動化ソリューションの強化」の一環として、小売・アパレルをはじめとする店舗の業務効率化と生産性向上を目指すものです。

■ 協業強化の背景

小売・アパレル業界では、人手不足や人件費の上昇に加え、多数の商品を取り扱う店舗も多く、会計をはじめとする店舗業務の効率化が課題となっています。

当社は2026年6月に公表した第3次中期経営計画において、「業界特化型POSの推進」「省人化・自動化ソリューションの強化」を重点施策に掲げています。今回の協業強化を通じ、会計業務の省人化・効率化など、小売・アパレルの現場課題に対応する機能・サービスの拡充を進めます。

■ 「1点ずつ読み取る」会計から「まとめて認識する」会計へ

RFIDレジは、商品に取り付けたRFIDタグを非接触で読み取り、買い物カゴなどに入った複数の商品を一括して認識し、会計につなげる仕組みです。従来のバーコード方式で必要だった「商品を一つずつ読み取る」作業を減らすことで、セルフレジでは利用者の操作負担を、有人レジではスタッフの読み取り作業を軽減し、会計時間の短縮や店舗業務の効率化が期待できます。

両社は今後、「スマレジ」のPOS・店舗管理基盤とアスタリスクのRFID技術を組み合わせ、小売・アパレルを中心に、RFIDレジの実店舗での活用拡大を目指します。

■ 今後の展望

両社では、RFIDレジの実店舗での活用拡大に向け、具体的な活用方法検討を進めます。あわせて、RFIDにより商品を個品単位で認識できる特性を生かし、店舗防犯など会計以外の領域についても、今後の活用可能性を検討していきます。

【株式会社アスタリスクについて】https://www.asx.co.jp/

お問い合わせ：スマレジIR担当 ir_corp@smaregi.jp

IR情報：https://corp.smaregi.jp/ir/